

令和3年度病虫害発生予報第1号

長崎県病虫害防除所長

【予報の概要】

農作物名	病虫害名	発生程度	
		現況	予想
麦類	うどんこ病	並	並
	赤かび病	並	並
ばれいしょ	疫病	並	並
	アブラムシ類	少	やや少
	ジャガイモガ	並	並
トマト	黄化葉巻病	並	並
	灰色かび病	少	少
	コナジラミ類（防除情報第1号）	やや多	やや多
いちご （本圃）	灰色かび病	並	並
	ハダニ類	並	並
	アザミウマ類	やや多	やや多
かんきつ	そうか病	並	並
	かいよう病	並	並
	ミカンハダニ（防除情報第2号）	多	多
なし	赤星病	やや多	やや多
	黒星病	やや多	やや多
	アブラムシ類	並	並
果樹共通	カメムシ類	少	少
茶	カンザワハダニ	並	やや多
	チャノキイロアザミウマ	少	やや少
	クワシロカイガラムシ	やや少	並

【発生予報】

本文の（ ）内は平年値

麦類

1. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査（大麦9筆、小麦15筆）の結果、大麦では発生を認めなかった（発生を認めない）。小麦では発病茎率は0.0%（過去10か年平均0.7%）、発生圃場率は6.7%（過去10か年平均3.3%）であり、一部圃場で発生が認められた。

イ 4月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

2. 赤かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査（大麦9筆、小麦15筆）の結果、発生を認めなかった

(発生を認めない)。

イ 4月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

ばれいしょ

1. 疫病

(1) 予報内容: 発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査(24筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率0.5%)。

2. アブラムシ類

(1) 予報内容: 発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査(24筆)の結果、寄生株率は1.2%(7.4%)、発生圃場率は25.0%(50.0%)であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

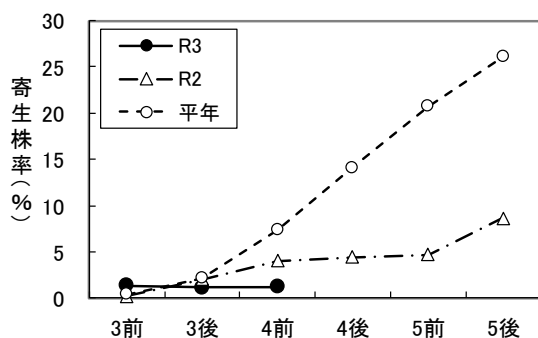


図 ばれいしょアブラムシ類寄生株率の推移

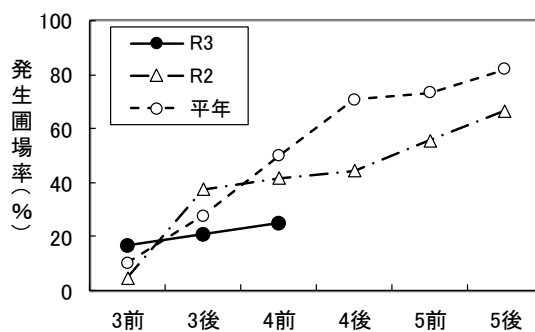


図 ばれいしょアブラムシ類発生圃場率の推移

3. ジャガイモガ

(1) 予報内容: 発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査(24筆)の結果、被害株率は0.1%(過去10か年平均0.0%)、発生圃場率は12.5%(過去10か年平均0.8%)であった。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容: 発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は4.3%(0.2%)、発生圃場率は16.7%(14.6%)であるが、一部多発圃場が見られた。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容: 発生程度 少

(2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.3%、発生圃場率16.7%、過去8か年平均発病葉率1.2%、発生圃場率33.3%)。

3. コナジラミ類

令和3年4月16日付け**病害虫発生予察防除情報第1号**による。

いちご

1. 灰色かび病

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（26筆）の結果、発病果率は0.3%（0.3%）、発生圃場率は11.5%（23.4%）であった。

2. ハダニ類

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生株率は10.6%（11.1%）、発生圃場率は65.4%（55.6%）であった。

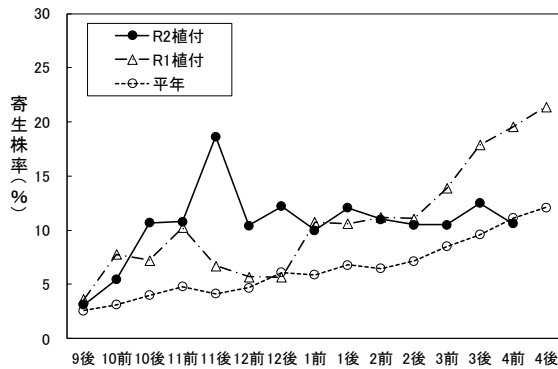


図 いちご ハダニ類 寄生株率の推移
 平均：H22～R1の平均値(最大・小値除く)

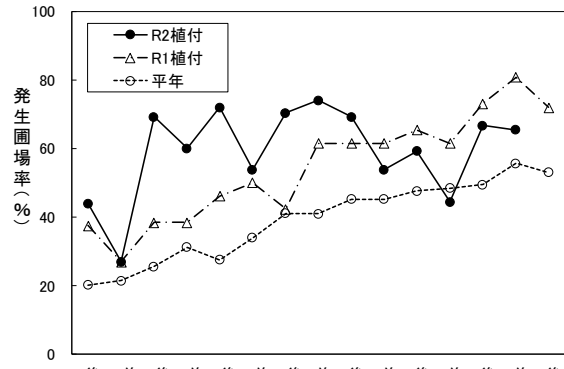


図 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移
 平均：H22～R1の平均値(最大・小値除く)

3. アザミウマ類

- (1) 予報内容：発生程度 やや多
- (2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生花率は8.4%（過去5か年平均 6.9%）、発生圃場率は80.8%（過去5か年平均 68.0%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

- (3) 防除上注意すべき事項

ア 施設外から成虫の飛び込みが多くなる時期なので、施設周辺の雑草を除去する。

イ 発生が多くなってからの防除は困難なので、早期発見・早期防除に努める。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和3年長崎県病害虫防除基準

P216～219の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

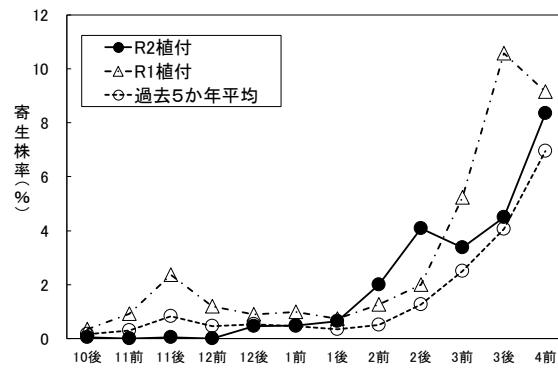


図 いちご アザミウマ類 寄生株率の推移

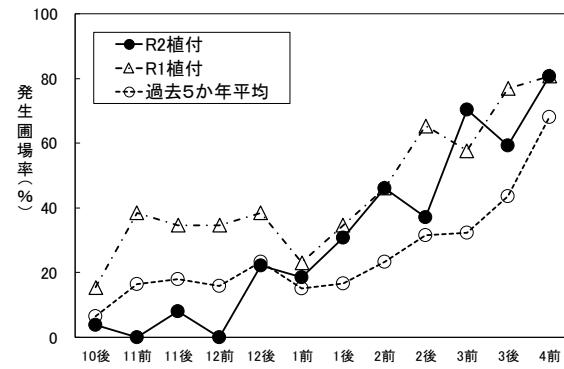


図 いちご アザミウマ類 発生圃場率の推移

かんきつ

1. そうか病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（36筆）の結果、発病葉率は0.0%、発生圃場率は5.6%（調査時期変更初年度のため平年値なし）であった。

2. かいよう病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（36筆）の結果、寄生葉率は0.4%、発生圃場率は25.0%（調査時期変更初年度のため平年値なし）であった。

3. ミカンハダニ

令和3年4月16日付け**病害虫発生予察防除情報第2号**による。

なし

1. 赤星病

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（12筆）の結果、発病葉率は0.7%（0.0%）、発生圃場率は25.0%（2.1%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

この時期は風雨により感染が助長されるため、薬剤散布は降雨前に行い、予防に努める。

2. 黒星病

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（12筆）の結果、発病葉率は0.0%（発生を認めない）、発生圃場率は8.3%（発生を認めない）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア スピードスプレーヤーで散布する場合は全列走行とし、園の周囲等で薬液が到達しにくい場所は手散布を併用する。

イ 薬剤抵抗性発達の防止のため、同一系統（令和3年長崎県病害虫防除基準

P410～411の「作用機構による分類（FRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

ウ 発生した葉や幼果は除去し、園外へ持ち出して適正に処分する。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生新梢率は0.1%（0.4%）、発生圃場率は16.7%（19.8%）であった。

果樹共通

1. カメムシ類

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

- ア 1月に実施したチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果、常緑広葉樹林の落葉中の虫数は平年より少ない（0頭/m²、平年 0.38頭/m²）。
- イ 県予察圃場に設置したフェロモントラップにおいて、4月1半旬にチャバネアオカメムシの飛来を確認した。

(3) 防除上注意すべき事項

フェロモントラップへの誘殺が確認されているため、びわ、ナシなど果実のある園地へ飛来するおそれがあるので、園地をよく観察し発生が確認される場合は防除を行う。

茶

1. カンザワハダニ

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月後期の巡回調査（15筆）の結果、旧葉の寄生葉率は5.0%（2.5%）、発生圃場率は53.3%（35.9%）であった。

イ 4月前期の巡回調査（15筆）の結果、新葉での発生を認めなかった。

ウ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 葉裏にも薬液が十分かかるよう散布する。

イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和3年長崎県病害虫防除基準

P430～433の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

ウ 薬剤散布に当たっては使用時期、使用回数等を確認し、使用基準を遵守する。

2. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査（15筆）の結果、たたき落とし虫数（5回×4か所当たり）は0.9頭（4.1頭）、発生圃場率は33.3%（69.5%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

3. クワシロカイガラムシ

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 4月前期の巡回調査（15筆）の結果、寄生株率は0.8%（4.5%）、発生圃場率は40.0%（42.2%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア ふ化直後の薬剤散布が最も防除効果が高いので、病害虫防除所から4月下旬に発表予定の「クワシロカイガラムシ第1世代のふ化盛期予測日」を参考に薬剤散布を行う。

イ 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。

【参考】

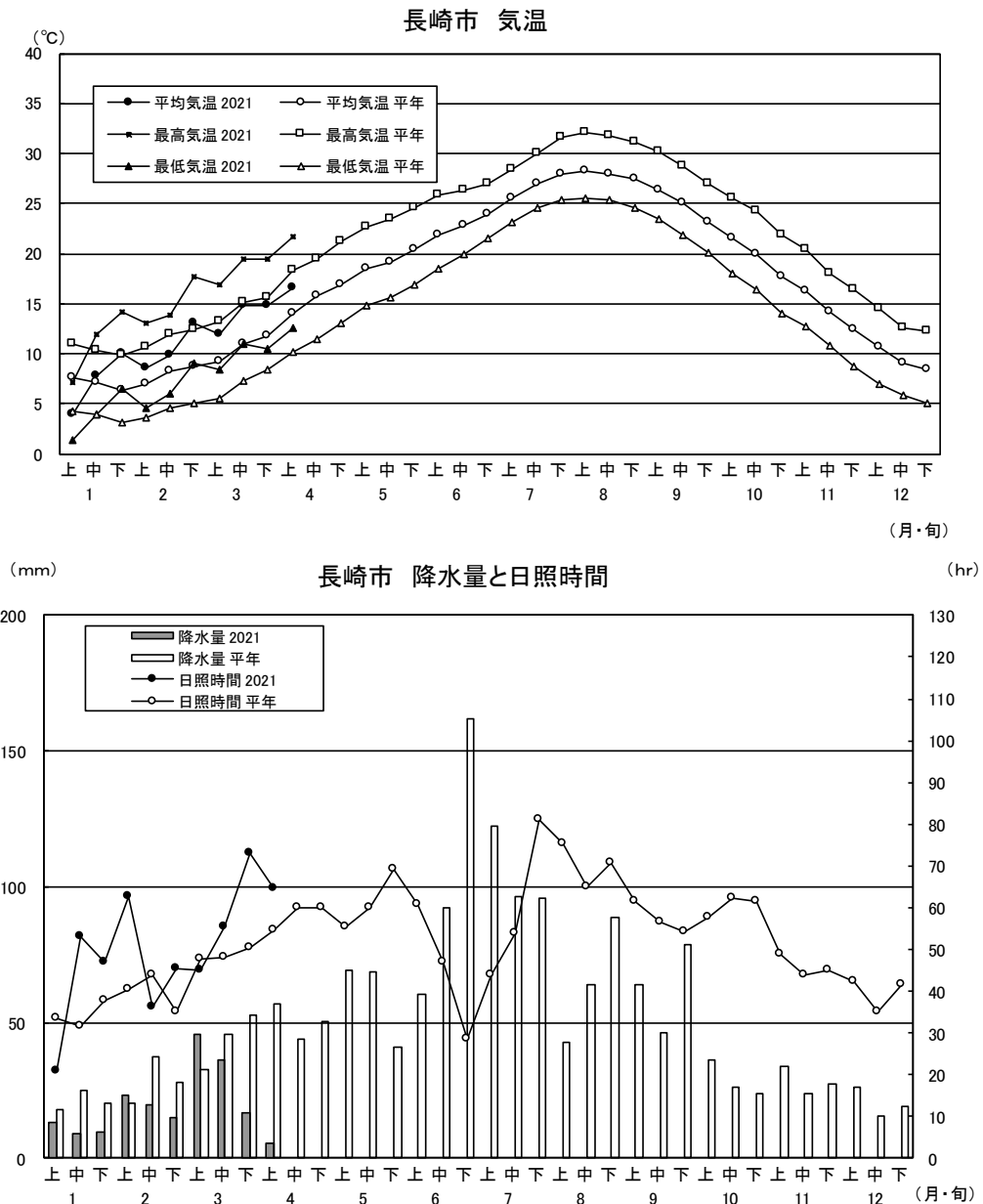
(令和3年4月15日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	30	30	40
降水量	40	40	20
日照時間	20	30	50

※予報対象地域：九州北部地域

令和3年の気象経過 (長崎地方気象台)



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) TEL：0957-26-0027

